



Video Decoder

取扱説明書

DD-1216

はじめに



本取扱説明書では、(株)IDISの製品であるDirectIP Video Decoder（ビデオデコーダ）の設置および運用のための基本的な説明を記述しています。

本機をはじめてご使用になるユーザーや、既にご使用中の方でも、ご使用前には必ず本取扱説明書をよく読み注意事項をご確認の上、本機を使用することをお勧めいたします。なお、安全上の警告および注意事項は、製品を正しく使い危険や財産上の被害を防ぐために必ずお守りください。



お読みになった後は、いつでも確認できる場所に保管して下さい。

- ☒
- 本書を無断で複製することは禁じられています。
 - 規格品以外の製品を使用することで発生した損傷、または取扱説明書の使用方法に従わずに発生した 製品の損傷は、当社で責任を負いかねますのでご了承下さい。
 - DirectIP™ Gigabit PoE Switchを初めてご使用になるか、使い方がご不明な場合は、設置前や、使用中にかかわらず必ず販売店までお問い合わせ頂き、専門のエンジニアのサポートを受けて下さい。
 - システムの機能拡張および故障・修繕のためにシステムを分解する場合は、必ず販売店までお問い合わせ頂き、専門家のサポートを受けなければなりません。
 - 本機は業務用として電磁波適合登録を済ませた装置のため、販売者またはユーザーはこの点にご注意ください。間違って販売または購入された場合には家庭用に交換してください。

安全上の注意事項の表示

アイコン	表記	意味
	警告	この事項を守らない場合、死亡や重症を負う恐れがある内容です。
	注意	この事項を守らない場合、軽症を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容です。

本文での表記

アイコン	表記	意味
	注意	本機の機能や動作に関する内容のため、必ず熟知される必要があります。
	参考	本機を使用する上で役立つ内容です。

著作権

© 2020 (株)IDIS

本取扱説明書の著作権は(株)IDISにあります。

(株)アイデイスの許可無く取扱説明書の内容の一部または全部を無断で使用したり、複製したりすることは禁じられています。

本取扱説明書の内容は製品の機能改善などの理由により予告なく変更される場合があります。

登録商標

アイデイスとIDISはアイデイスの登録商標です。

その他の社名や製品名は当該会社が所有する登録商標です。

本文書の内容は予告なく変更する場合があります。

本製品には一部のオープンソースを使用したソフトウェアが含まれています。そのソフトウェアのソースコードをご希望の方にはご提供可能です。

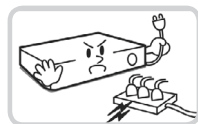
安全上の注意事項

製品を正しく使うことでユーザーの安全を確保し、財産上の損害などを事前に防止するために必ずお守りください。



指示事項を守らない場合、死亡や重症を負う恐れがある場合。

設置について



設置する前に必ず本機の電源をOFFにしてください。本機が使用するコンセントにタコ足配線はご遠慮願います。

異常発熱や火災、感電の原因となります。



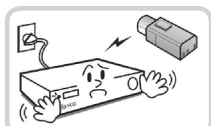
本機の内部に高電圧部分があるため、蓋を開けたり分解・修理・改造したりしないでください。

異常動作により火災や感電、けがの原因となります。



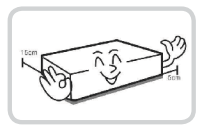
停電や落雷による被害を防ぐため、保護設備を併用してご使用ください。

火災、感電、けがの原因となります。



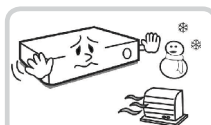
カメラの新規設置および追加工事の前には必ず本機の電源をOFFにし、製品の稼働中には絶対に信号ラインを接続しないでください。

火災、感電、けがの原因となります。



本機の後面には接続のための端子があり、壁に近すぎるとところに設置すると、ケーブルが無理に曲がったり押さえつけられたりして破損する恐れがあります。壁から15cm以上の間隔を開けて設置してください。

火災、感電、けがの原因となります。



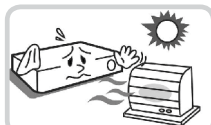
温度が高すぎる場所（40℃以上）や低いところ（0℃以下）、湿度の高いところには設置しないでください。

火災の原因となります。



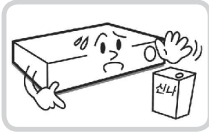
湿気、ホコリ、煤などの多いところには設置しないでください。

感電、火災の原因となります。



直射光線の当たらない涼しい場所に設置し、適正な温度を維持してください。暖房器具など、熱を発する機器の近くには設置しないでください。

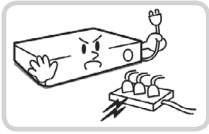
火災が発生する恐れがあります。



設置する場所は、ホコリが溜まらないよう常に清潔を保ってください。製品を掃除するときには、必ず乾いた雑巾で拭き取ってください。水や有機溶剤は使用しないでください。

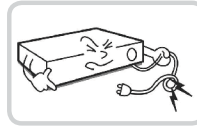
製品の表面を傷つけ、故障や感電の恐れがあります。

電源について



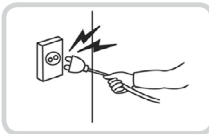
本機が動作するための電源電圧は、電圧の変動範囲が規程電圧の $\pm 10\%$ 以内である必要があります。電源コンセントは必ず接地してください。電源ケーブルを接続するコンセントには、ヘアドライヤーやアイロン、冷蔵庫などの消費電力の大きな器具と一緒に使用しないでください。

異常発熱や火災、感電の原因となります。



電源ケーブルを無理に曲げたり、重い物を乗せたりしないでください。

火災の原因となります。



電源ケーブル部分を無理に引き抜いたり、濡れた手で電源プラグに触らないでください。コンセントがゆるい場合は電源プラグを差し込まないでください。

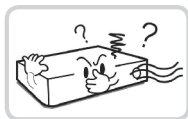
火災、感電の恐れがあります。

使用について



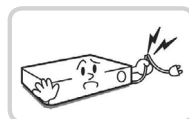
製品に水または異物が入った場合、すぐに電源プラグを抜いてサービスセンターまでご連絡ください。

故障、火災の原因となります。



異常な音がしたり臭いがしたりする場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店やサービスセンターまでお問い合わせください。

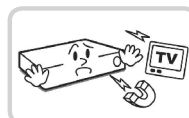
火災、感電の恐れがあります。



湿気のある床や接地されていない電源延長ケーブル、被覆の剥がれた電源コード、アースをとっていないなど、危険な状況を作らないように注意してください。問題が発生した場合は、販売店や施工業者にお問い合わせください。

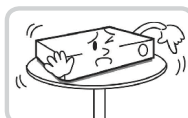
火災、感電の恐れがあります。

設置について



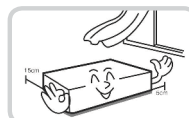
強い磁界や電波のある場所、ラジオやブラウン管式テレビなどの無線機器に近い場所には設置しないでください。

磁石類や電波のないところに設置してください。



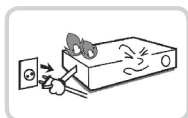
水平で安定した場所に設置し、垂直に立てたり斜めに置いて使用しないでください。

機器が倒れたり落ちたりする場合、故障したり人にけがをさせたりする恐れがあります。



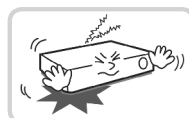
密閉されていない風通しの良い場所に設置し、室内の空気は適切に循環させてください。

環境が適さない場合、故障の原因となります。後面は15cm以上、側面は5cm以上の間隔を置いて設置してください。



ユーザーが電源プラグを簡単に取り外せる場所に設置してください。

製品に深刻な異常や火災が発生した場合、電源プラグを抜いて危険要素を簡単に取り除けるようにしてください。



強い衝撃や振動のない場所に設置してください。

故障の原因となります。

使用について



製品の上に重い物を置かないでください。

故障の原因となります。



通風のために開いている溝に導電性物体が入らないように注意してください。

故障の原因となります。



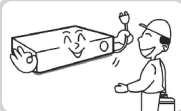
製品の稼働中には電源プラグを抜いたり、製品を動かしたりしないでください。

故障の原因となります。



製品前面の電源LEDが点灯し続けている場合、システムが正常に接続されていることが分かります。

電源LEDが点灯し続けているかどうか随時確認してください。



製品の動作状態を随時確認し、異常が見つかったときはすぐに販売店やサービスセンターにお問い合わせください。

目次

1

第1章－製品紹介	10
製品の特徴	10
付属品の確認	12
各部分の名称および機能	12
前面パネル	12
後面パネル	13
後面パネルの接続	14

2

第2章－設置	16
ログイン	16
リアルタイム監視	17
PTZ制御	18
イベントモニタリング機能	20
カメラロック機能	21
コンテキストメニューの実行	21
画面グループの編集機能	21

3

第3章－設定	22
メニューの使い方	22
スクリーンキーボードによる文字列入力	22
マウスの使用	23
システム設定	23
一般	23
日時/時間	24
使用者	24

カメラ設定	27
登録	27
ディスプレイ設定	30
OSD	30
モニター	30

4

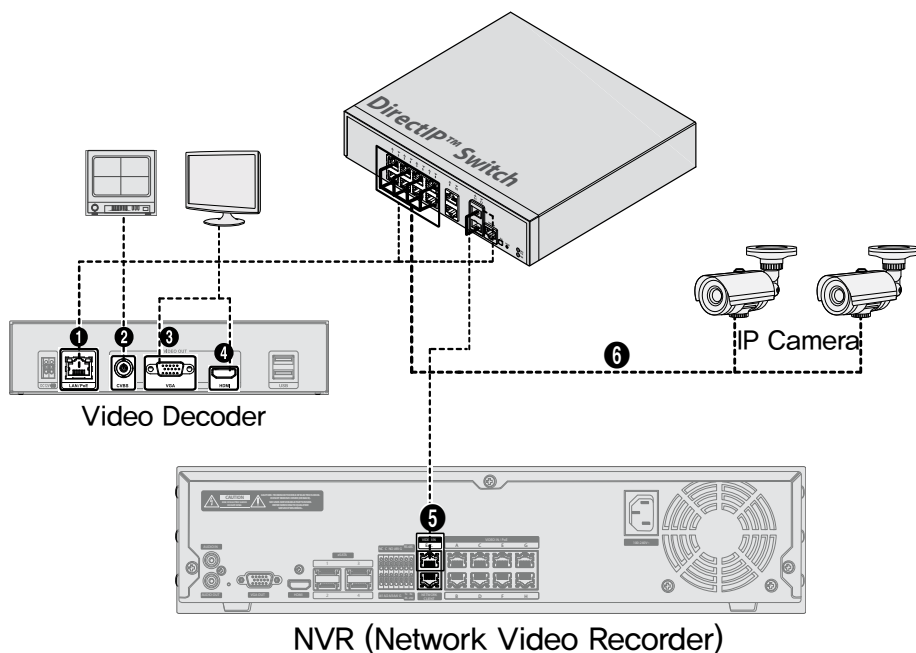
第4章 付録	31
システムログの種類	31
エラーコードの種類	32
故障と思われる時の確認事項	34
製品の仕様	35
MEMO	

第1章－製品紹介

製品の特徴

- 高解像度 16 チャンネルビデオ出力対応 (HDMI、VGA、CVBS)
- 高解像度、高画質映像のリアルタイム監視
- H.264、H.265動画圧縮アルゴリズムに対応
- DirectIP™、IDISプロトコルに対応
- USB端子を利用した簡単なファームウェアアップグレードが可能
- システム安定化のための、ファームウェア冗長化および自動復旧機能対応
- さまざまなイベントモニタリング機能：モーション感知、タンパーリング、オーディオ、アラーム入力、トリップゾーン

ビデオデコーダを利用した製品接続



ケーブルの種類	
①	LANケーブル (データ+PoE 電源)
②	CVBS 出力ケーブル
③	VGA 出力ケーブル
④	HDMI 出力ケーブル
⑤	LANケーブル
⑥	LANケーブル

IDIS プロトコルカメラの場合、Network Video Recorder(NVR)がなくても接続することができます。

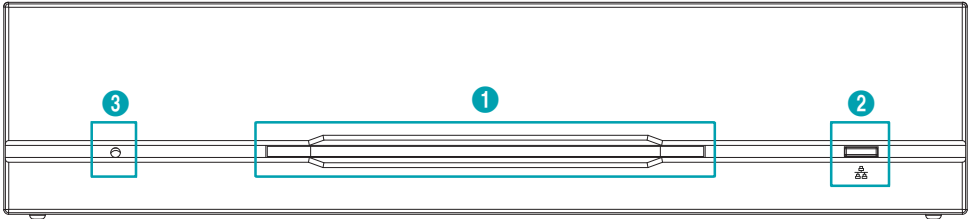
付属品の確認

製品を購入したら、下記のものがすべて含まれているか確認してください。

- ビデオデコーダ本体
- 取扱説明書

各部分の名称および機能

前面パネル



①	電源LED	②	ネットワークLED	③	ファクトリーリセットスイッチ
---	-------	---	-----------	---	----------------

① 電源LED

システムの運用状態を表します。

② ネットワークLED

ネットワーク接続状態を表します。

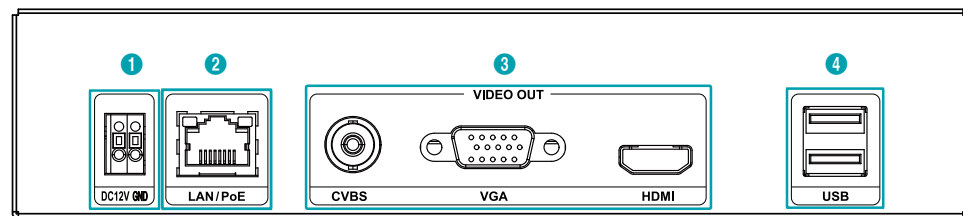
LED状態情報

LED	状態	説明
電源LED	消灯	電源が接続されていない
	点滅	起動またはソフトウェアアップグレード中
	点灯	動作中
ネットワークLED	点滅	ネットワークに正常接続

③ ファクトリーリセットスイッチ

設定値を工場出荷時のデフォルト設定に戻すときに使用します。製品の電源を切り、まっすぐ伸ばしたクリップでファクトリーリセットスイッチを押したまま電源をオンしてください。製品の内部ブザー音が二回鳴るまでスイッチを押し続けます。押していたクリップを外すと、すべての設定は工場出荷時のデフォルト設定の状態に戻ります。

後面パネル



①	DC12V 入力	②	ネットワー ク + PoE電源 入力	③	ビデオ出力	④	USB (2 端子)
---	-------------	---	--------------------------	---	-------	---	------------

① **DC12V入力**：電源アダプタ(DC12V)の2本の電線を接続します。電線接続時、電源のDC12V電線と接地(GND)電線を間違えないように注意して接続します。本ビデオデコーダは電源ボタンがないため、電源を接続するとすぐに立ち上がります。

② **ネットワーク+PoE電源入力**：RJ-45プラグを持つCat5eケーブルを接続します。本ビデオデコーダはイーサネットを利用してネットワークに接続することができ、またPoE機能に対応するNVRとSwitch HubからLANケーブルを通じて電源が供給されます。

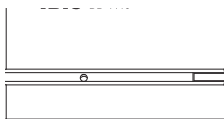
③ **ビデオ出力**：CVBS、VGA、HDMIの3種類のポートがあります。（※但し、CVBSの場合、マウスによるメニュー操作はできません。）

④ **USB入力**：2つの端子をすべて使用することができます。



☒ DC12V電源コネクタを接続するため、ボタンを押したまま下の穴に電線を差し込みます。確実に接続しているか確認するため、ボタンを離して電線を軽く引っ張ってみてください。電線を抜くためには、上のボタンを押したまま電線を引き抜いてください。

- ☐ ポートに接続されているデバイスの接続および通信速度によってLEDの色が変化します。
- ☐ 各LEDはL/A (リンク/動作)状態とPoE状態を区分して表示します。
- ☐ マウスおよびフラッシュメモリー以外の装置をUSB入力端子に接続しないでください。

ファクトリーリセット



装置の前面の電源LEDの左側にあるファクトリーリセットスイッチは、ビデオデコーダを工場出荷時の初期設定に戻すときにのみご使用ください。

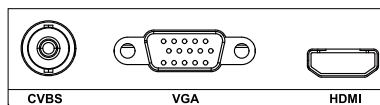
-  ファクトリーリセットを使用する場合、ユーザーが保存したビデオデコーダのすべての設定値が失われます。
-  ファクトリーリセットを行うためには、まっすぐ伸ばしたクリップが必要です。

- 1 ビデオデコーダの電源をオフしてください。
- 2 まっすぐ伸ばしたクリップをファクトリーリセットスイッチの穴に差し込んで、スイッチを押したままビデオデコーダの電源をオンしてください。
- 3 ビデオデコーダの内部ブザーが2回なるまでスイッチを押し続けてください。
- 4 押していたクリップを外すと、ビデオデコーダのすべての設定は工場出荷時の初期設定の状態に戻ります。

後面パネルの接

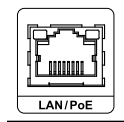
モニター接続

VGA OUT、HDMI端子にモニターを接続することができます。



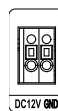
ビデオ接続


• Video In/PoE (ビデオ入力/PoE)端子



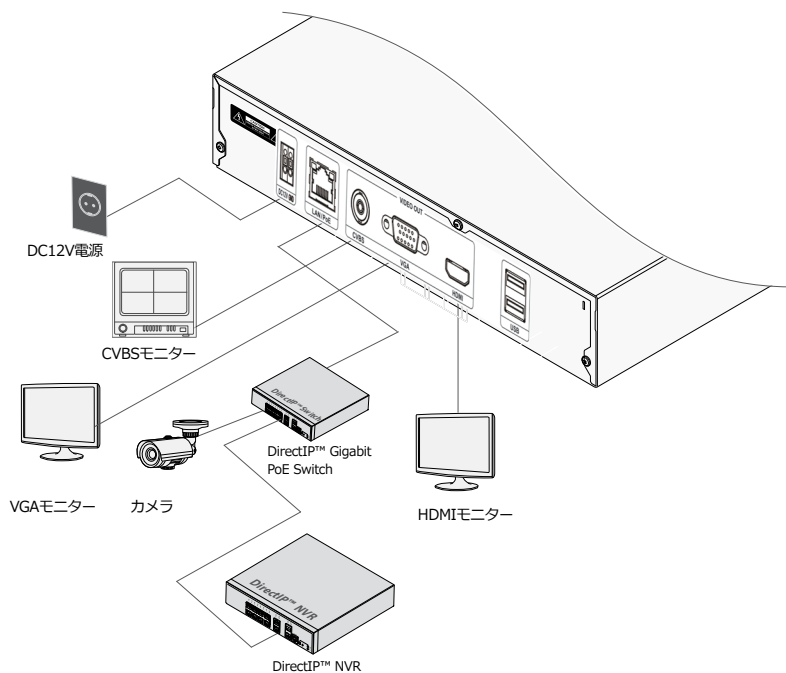
RJ-45プラグのCat5/Cat5e/Cat6ケーブルを利用してSwitchまたはNVRを接続します。

電源コードの接続



本ビデオデコーダは電源ボタンがないため、電源を接続するとすぐに立ち上がります。PoE給電を使用しない場合は、アダプターのケーブル（12V ) をビデオデコーダに接続した後、アダプターのAC電源プラグを壁のコンセントに差し込みます。

後面パネルの接続図

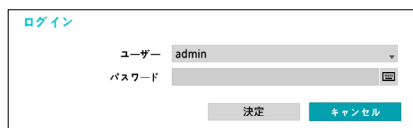


第2章－設置

ログイン

設定変更や検索など、ビデオデコーダの様々な機能を使用するためには、その権限を有するユーザーでログインしなければなりません。

- 1 リアルタイム監視メニューでマウスを利用して⑥（ログイン）を押してください。



ログイン画面のスクリーンショット。タイトルは「ログイン」です。ユーザー名入力欄には「admin」が選択されています。パスワード入力欄にはパスワードが入力されています。パスワード入力欄の右側には目隠しアイコン（目）があります。画面下部には「決定」と「キャンセル」の2つのボタンがあります。

- 2 ユーザーを選択してパスワードを入力したら、**決定**ボタンを押してください。



- マウスでパスワード入力項目の右側にある目隠しボタンを押すと、スクリーンキーボードでパスワードを入力することができます。スクリーンキーボード使用に関する内容は、[スクリーンキーボードによる文字列入力 ページ 15](#)を参照ください。

- 3 リアルタイム監視メニューにおいてマウスで⑥（ログアウト）を押すと、ログアウトすることができます。



ログアウト確認画面のスクリーンショット。タイトルは「ログアウトしますか」です。ユーザー名「admin」が表示されています。画面下部には「ログアウト」と「キャンセル」の2つのボタンがあります。

リアルタイム監視

リアルタイム監視モードでマウスポインタを画面の上辺に当てると、リアルタイム監視メニューが表示されます。マウスポインタの位置がリアルタイム監視メニューから外れるとメニューが消えます。



①	ログイン/ログアウト	②	レイアウト	③	前画面グループ、次画面グループ	④	ディスプレイ
⑤	自動切替	⑥	カメラ選択	⑦	設定	⑧	ステータス情報ウィンドウ

① ログイン/ログアウト

ログインまたはログアウトができます。ログインされている場合、そのIDが表示されます。ログアウトされている場合は、Loginが表示されます。

② レイアウト

画面のレイアウトを単一画面、2画面、3画面(Corridor Format)、4画面、9画面、16画面 に切り替えます。3画面(Corridor Format)を使用するためには、ディスプレイ設定-メインモニターの**コリドールフォーマット**を選択しなければなりません。


③ 前画面グループ/次画面グループ

現在の画面グループから前画面グループ、または次画面グループに移動します。

④ ディスプレー

- **OSD(On Screen Display)** : **OSD**機能を有効化、または無効化します。
- **全体画面** : 全体画面モードで映像を表示します。
- **比率維持** : カメラから伝送される映像のオリジナル比率を維持するかどうかを選択します。

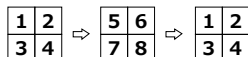
⑤ 自動切替

リアルタイム監視モードで自動切替が始まります。自動切替を止めたい時はもう一度**自動切替**を選択してください。自動切替中には、画面の右上のシステムステータス情報のところに  が表示されます。

フル切替

監視モードの全体画面および画面分割ですべてのチャンネルが順次に切り替わって表示されます。フル切替機能を使用するためには、ディスプレイ設定-モニターの自動切替設定で**フル切替**を選択する必要があります。

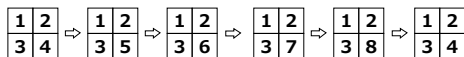
例> 4分割画面でフル切替



切替

切替モードでは監視モードの画面分割で右下の一つの画面だけが自動的に切り替わります。**切替**機能を使用するためには、ディスプレイ設定-モニターの自動切替設定で**切替**を選択する必要があります。

例> 4分割画面で切替



- **フル切替**での動作中には、画面右上のシステムステータス表示部分には自動切替の表示の隣にページ番号が表示されます。
- 次の場合はそのページをスキップします。
 - ページを構成しているすべてのカメラが無効状態の場合
 - 映像信号がない場合
 - ロックされたカメラの場合
 - カメラにアクセスできる権限のないIDでログインした場合

⑥ カメラのメニュー

選択したカメラを単一画面でみることができます。

⑦ 設定

設定メニューに入ることができます。

⑧ ステータス情報

システムのステータスをアイコンで表示します。

ステータス情報ウィンドウ

	自動切替機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。
1/4	全体画面モードではない場合、現在の画面が属しているグループを表示します。
	イベントモニタリング中の場合、このアイコンが表示されます。

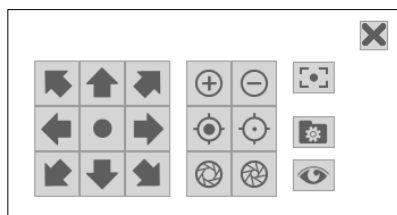
PTZ制御

監視モードで、カメラ画面でマウスを右クリックして表れるコンテキストメニューからPTZを選択します。マウスを右クリックしたチャンネルがPTZであればコンテキストメニューからPTZを選択するとすぐにPTZモードに変更されますが、右クリックしたチャンネルがPTZではない場合にはコンテキストメニューのPTZは非アクティブとなります。当該カメラのOSDウィンドウに アイコンが点滅します。方向ボタンでPTZカメラの上下左右に移動（Pan、Tilt）することができます。マウスをドラッグして方向を移動することができます。マウスのホイールで拡大/縮小ができます。



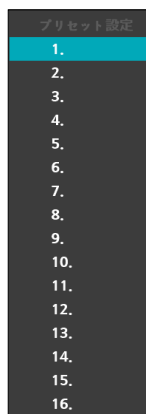
- PTZカメラを調整するために、**PTZ制御権限**を有するユーザーでログインしなければなりません。
- PTZ モードを終了するためには、マウスを右クリックしてコンテキストメニューを開き、そのメニューからPTZ 終了を選択してください。

PTZモードでマウスポインタを画面の下段にあわせると、PTZのコントロールボックスが現れます。

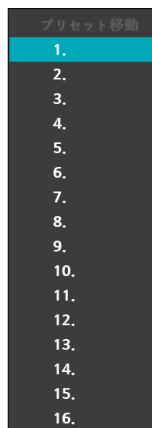


PTZプリセットを設定する

PTZモードで を押すと、**プリセット設定** ウィンドウが表示され、現在の位置をプリセット番号を指定して保存することができます。



PTZモードで を押して**プリセット移動** 設定ウィンドウが表示されたら、プリセット番号を選択すると、その番号に保存された位置にPTZカメラを移動させることができます。



第2章 – 設置

詳細設定

PTZ モードにおいて設定するカメラを選択してマウスを右クリックすると、下記のような PTZ の高機能メニューが表示されます。**速度**、**オートパン**など、その PTZ カメラが対応する拡張機能が使用できます。その PTZ カメラが対応しない機能は無効化されます。



- ☒ マウスを使うともっと簡単に PTZ カメラを調整することができます。マウスの左ボタンでドラッグしてカメラを動かすことができ、マウスのホイールで映像を縮小/拡大することもできます。

	PTZカメラの移動
	ズームイン/アウト
	近距離/遠距離フォーカス
	しぼりを開く/閉じる
	自動フォーカス実行
	プリセット設定/移動
	高機能PTZ

- ☒ 自動フォーカス実行が作動している間、画面に "Focusing..." と表示されます。
- ツールボックスウィンドウをドラッグして位置を変えることができません。
- ☒ アイコンをクリックするとツールボックスが消えます。

イベントモニタリング機能

イベントが発生すると、イベント連動録画が始まるカメラ画面へ自動的に切り替わり、右上のシステムステータスエリアに アイコンが表示されます。イベントモニタリング機能を使用するには、**ディスプレイ設定 > モニター** で **イベントモニタリング** を設定してください。イベントモニタリングは、**出力時間** にて設定した時間だけその機能が維持されます。その後、新しいイベントが発生しなければ前画面に戻ります。**出力時間** が終了する前に **画面分割** ボタンを押したり、**カメラ番号** ボタンを押したりすると、通常監視画面に切り替わります。

カメラロック機能

ユーザーがログインしていないか、ロックされたカメラを表示する権限が無いユーザーでログインした場合、指定したカメラを表示しないように設定します。

カメラ設定> 登録で特定のカメラを**隠し1**または**隠し2**に設定することができます。

- **隠し1**：監視画面で指定したカメラの映像は見えないが、そのカメラのタイトルや現在の状態を表すアイコンは通常通りに表示されます。
- **隠し2**：監視画面で指定したカメラの映像が映らず様々な状態を表すアイコンも表示されません。



ロックされたカメラを表示する権限を持つユーザーがログインした場合、カメラが**隠し1**や**隠し2**に設定されていてもロック機能は作動せず映像や状態アイコンがすべて表示されます。

コンテキストメニューの実行

リアルタイム監視モードにおいて、マウスの右クリックでメニューを実行するとコンテキストメニューウィンドウが表示されます。

- **PTZ**：PTZ制御機能が行えます。
- **情報**：ネットワークカメラチャンネルを選択すると、選択したチャンネルに関するデバイス情報が確認できます。
- **グループ編集**：グループ編集では分割画面上にカメラの位置を変更できます。
- **ログイン/ログアウト**：ログインまたはログアウトができます。

画面グループの編集機能

画面グループ編集モードは監視モードの画面分割で望みの位置にカメラ映像を並べ替える機能です。

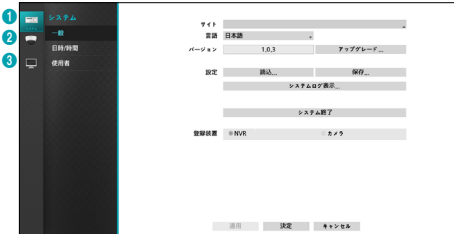
- 1 画面分割でコンテキストメニューの**グループ編集**を選択してください。編集するカメラ画面の縁に黄色いボーダーラインが表示されます。マウスで他の画面を選択することができます。
- 2 黄色いボーダーラインが表示された画面で**カメラボタン**か**メニューボタン**を押してカメラを選択してください。選択されたカメラがその画面位置に移動します。各画面にカメラ番号を並べ替えることができます。
- 3 マウスの右クリックでコンテキストメニューを開き、**グループ編集終了**を選択し、グループ編集モードを終了できます。

第3章－設定

メニューの使い方

設定メニューに入るためには、メニュー設定の権限を有するユーザーでログインする必要があります。

- 1 リアルタイム監視画面でマウスを利用してリアルタイム監視メニューで設定を選択してください。



1	システム設定
2	カメラ設定
3	ディスプレイ設定

- 2 マウスの左ボタンで設定したい項目をクリックしてください。
- 3 設定変更が終わったら、適用または決定ボタンを押して変更した設定を保存してください。

☒ 設定ウィンドウ左下の初期値ボタンを選択すると、設定値が初期値に戻ります。

スクリーンキーボードによる文字列入力

マウスをクリックして文字を入力することができます。



	大文字と小文字を切り替えます。
	カーソルの前の文字を削除します。
	カーソルの後ろの文字を削除します。
	文字列キーボード入力を変更します。

マウスの使用

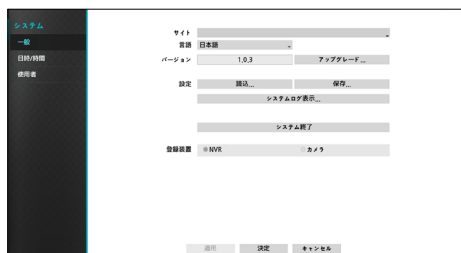
マウスを使えば、容易に環境設定が行えます。項目は左クリックで選択でき、スクロールバーのあるメニューではマウスのホイールを回してメニューを上下に移動できます。数字を増減させるときも、マウスのホイールを回して数字を変更することができます。

システム設定

設定メニューの使い方は[メニューの使い方 ページ 22](#)を参照ください。

一般

システムの一般的な内容を設定します。



- **サイト**：装置の設置場所に対するコメントが表示されます（初期値はありません）。スクリーンキーボードを利用して内容を変更することができます。
- **言語**：対応できる言語を選択することができます。
- **バージョン**：ファームウェアのバージョンを表示します。

- **アップグレード**：システムアップデートを行います。**USBメモリ**を選択するとUSB検索ウィンドウが表示され、アップデートパッケージファイルを選択してシステムをアップデートすることができます。アップグレード後にはビデオデコードが自動で再起動します。



アップグレードに失敗すると失敗メッセージが表示されます。失敗メッセージは[エラーコードの種類 ページ 32](#)を参照ください。



- **設定**：現在のビデオデコードの設定を保存したり、以前に保存した設定を読み込んだりすることができます。
- **読み込み**：USBに接続された保存装置から設定ファイルを読み込みます。



限設定読み込みを実行しても、下記の設定値は変更されません。

- 時間に関する設定値（日時/時間、標準時間帯、サマータイム）
- **エクスポート**：USBに接続されている保存デバイスに設定ファイルを保存します。**ファイル名**を指定して、現在の設定を保存することができます。



USBフラッシュメモリはFAT32フォーマットのみに対応します。

第3章－設定

- **システムログ表示**：最近の5000件までのシステムログを検索することができます。システムログの種類は**システムログの種類 ページ 31**を参照ください。画面下の**エクスポート**を押すと、ファイル名を指定してUSBに接続されている保存デバイスに保存することができます。



時間	タイプ
07-31-2015 17:26:10	設定スタート
07-31-2015 17:25:42	設定終了
07-31-2015 17:25:27	設定スタート
07-31-2015 17:25:22	ログイン : admin
07-31-2015 17:25:12	ログアウト : admin
07-31-2015 17:25:00	設定終了
07-31-2015 17:24:30	設定スタート
07-31-2015 17:24:28	ログイン : admin
07-31-2015 17:24:21	ディレクトリ : RVR6V06
07-31-2015 17:24:21	ログアウト : admin
07-31-2015 17:21:39	設定スタート
07-31-2015 17:21:32	ディレクトリ : RVR6V06
07-31-2015 17:21:32	ログアウト : admin
07-31-2015 17:21:32	システムスタート
07-31-2015 17:18:07	設定スタート
07-31-2015 17:18:04	ログアウト : admin

- ☒ 保存されたシステムログ.txtファイルの内容を確認するためには、適切な文字コードに設定して固定幅のフォントを使用する必要があります。

- **システム終了**：システムを終了します。ダイアログボックスが表示されたらもう一度**システム終了**を押してください。
- **Registration Device**：登録する装置のタイプを設定します。接続するNVRを検索して登録しようとする場合はNVRを、IDISプロトコルに対応するカメラを検索して登録しようとする場合にはカメラを選ぶことができます。

- ☒ 検索モードを変更すると、すでに登録されているNVRまたはカメラとの接続がすべて解除されます。

日時/時間



- **日付形式/時間形式**：日付や時間の表示方式を変更することができます。
- **標準時間帯**：標準時間帯を設定することができます。

- ☒ 画面に表示されている地図にマウスや方向ボタンで標準時間帯を選択することができます。

使用者

ユーザーを登録し、権限を与えて管理させることができます。



- 1 **+グループ**を押してグループの名前を入力してください。グループ名は最大15文字まで入力できます。

- 2 選択したグループの権限を選択してください。設定できる権限の種類は**グループ設定 ページ 26**を参照ください。

- 3 **+ユーザー**を押してユーザーの名前を入力してください。

- 4 ユーザーが属するグループを指定し、パスワードを入力してください。パスワードは、文字・特殊文字・数字を混ぜて16文字以内で指定してください。パスワード設定は必ずスクリーンキーボードで入力してください。
- 5 **決定**を押してください。
- 6 **自動ログイン項目**と**自動ログアウト項目**を選択してください。
- 7 **適用**または**決定**ボタンを押して設定を終了してください。



- グループ名、ユーザー名、パスワード、メールはスクリーンキーボードでも入力することができます。スクリーンキーボードの使い方は**スクリーンキーボードによる文字列入力 ページ 22**を参照ください。
- 登録されたユーザーとグループを削除するには、各項目の右側にある アイコンを押してください。**グループ Administrator**とユーザー **admin**は削除できません。
- 画面上段のユーザーおよびグループ名の右側にある アイコンを押すと、**グループ Administrator**と**ユーザー admin**を除く全てのグループやユーザーを一度に削除することができます。
- すでに作られたグループやユーザーの設定値を変更するためには、パスワードを入力する必要があります。
- グループ Administrator**の権限オプションは変更できません。
- ユーザー admin**を選択したとき、パスワード以外の情報は変更することができません。
- 本機が起動すると、**自動ログイン**項目で選択したアカウントに自動ログインされます。
- 自動ログアウト**設定された時間の間にシステムを操作しない状態が続くと、自動的にログアウトされます。

グループ設定

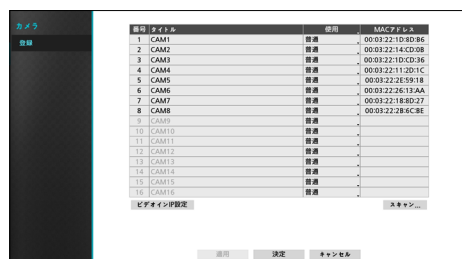
システム終了		システムメニューでシステムを終了することができます。
アップグレード		システムメニューでシステム情報設定をアップデートすることができます。
PTZ制御		PTZカメラを制御することができます。
隠しカメラ表示		監視モードで隠しカメラに設定されたカメラを表示することができます。
設定	隠しカメラ設定	隠しカメラの設定を行うことができます。
	設定読込	以前に保存したデコード設定を読み込むことができます。
	設定保存	現在のデコード設定を保存することができます。

カメラ設定

設定メニューの使い方は[メニューの使い方 ページ 22](#)を参照ください。

登録

カメラを使用するか否かを選択することができます。



- **使用**：普通、隠し1、隠し2に設定することができます。隠し1または隠し2で設定する場合、隠しカメラを見る権限のないユーザーは、そのカメラの映像を監視・再生できません。隠し1の場合は映像は表示されませんが、様々なOSDは表示されます。隠し2の場合はカメラが未接続と同様に、映像だけではなくOSDも表示されません。

NVRスキャン

スキャンモードをNVRに設定した場合には、カメラ登録画面からスキャンを選択すると、デコーダと接続するNVRを検索して登録することができます。接続されたNVRを検索し、その検索結果から登録するNVRを選択した後、**デバイス登録**を押してNVRを登録することができます。

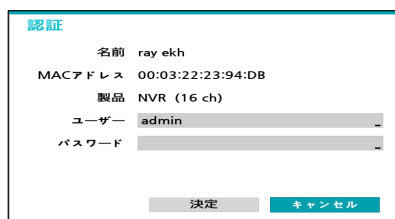


- ✓ 最大で 4 個までのNVRを登録することができます。
- ⚠ 登録されたNVRの状態が登録済み(認証失敗)の場合、状態項目を押して再認証を試すことができます。

デバイス登録

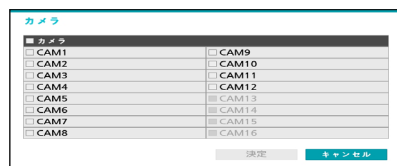
装置を登録するためには、NVR側で設定してあるユーザーおよびパスワードを入力する必要があります。


ユーザー名およびパスワードを設定してから決定を押すとNVRが自動的に登録されます。




第3章 – 設定

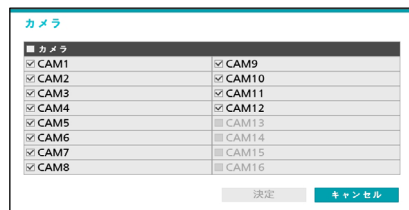
認証後に登録可能なカメラを選択することが出来るウィンドウが次項のように表示されます。カメラが登録されると、最初に登録されたカメラから連続的に並びます。




 最大で 16個までのカメラを選択することができます。

 他社のカメラはカメラの性能およびカメラの状態によって、一部の動作に対応しない場合があります。

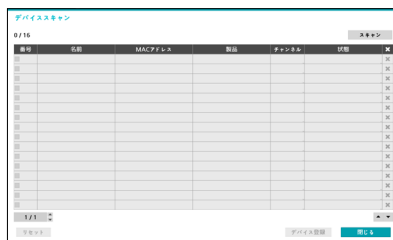
NVR登録後、登録するカメラを変更するにはチャンネル項目を押して変更しようとするチャンネルを選択します。



 登録されたNVRの状態項目をクリックして認証情報を変更することができます。

カメラスキャン

スキャンモードをカメラに設定した場合には、カメラ登録画面からスキャンを選択すると、デコードと接続する IDISプロトコルカメラを検索して登録することができます。接続されたカメラを検索し、その検索結果から登録するカメラを選択した後、**デバイス登録**を押してカメラを登録することができます。




デバイス登録

装置を登録するためには、カメラ側で設定してあるユーザーおよびパスワードを入力する必要があります。

ユーザー名およびパスワードを設定してから決定を押すとカメラを登録することができます。



全て適用を選択すると、装置のスキャンリストにある全カメラに同一の認証情報を適用します。

 カメラ登録は、IDISプロトコルカメラにのみ対応しています。

認証時、下記のエラーが発生した場合はカメラの新しいパスワードを設定してから再度お試しください。

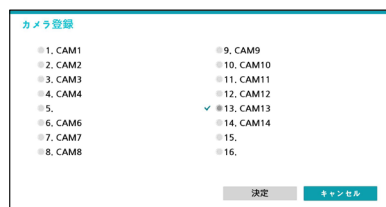
セキュリティ対策のため、カメラの新しいパスワードを先に設定する必要があります。

設定後、再接続してください。

(IDIS Client S/WまたはNVRで設定が可¥x94¥x5cです。)

チャンネル変更

デバイススキャン- チャンネル 項目を押すと、登録されたカメラのチャンネルを変更することができます。



お望みのカメラチャンネルを選択して決定ボタンを押します。

- ☒ すでに他のカメラが登録されているチャンネルを選択した場合には、二つのカメラのチャンネルが互いに変更されます。

認証情報変更

デバイススキャン- 状態 項目を押すと、登録されたカメラの認証情報を変更することができます。

- ☒ 分割画面による最大対応解像度は下記の通りです。カメラを直接接続する場合、スムーズな映像出力のために下記の性能を参照してカメラストリームを設定してください。

分割画面	ストリーム	最大対応解像度 / ips
1x1, 1x2	Stream 1	制約なし
2x2, Corridor	Stream 1	3MP 30ips
3x3	Stream 2	2MP 30ips
4x4	Stream 2	2MP 15ips

ディスプレイ設定

設定メニューの使い方は[メニューの使い方 ページ 22](#)を参照ください。

OSD

OSD(On Screen Display)情報を画面下に表示するように設定できます。



状態について

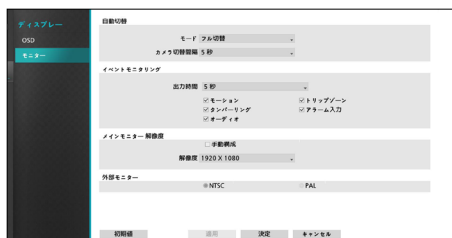
- **日付、時間**：日時と時間が表示されます。

カメラについて

- **番号**：カメラ番号がカメラ画面の左上に表示されます。
- **タイトル**：カメラタイトルがカメラ画面の左上に表示されます。
- **PTZ**：カメラがPTZカメラに設定されていると、**P** アイコンを表示します。
- **PTZ拡大**：カメラがPTZカメラに設定されていると、拡大モードにおける拡大の倍率を示します(x2、x3など。)

モニター

モニターに関する設定を行ないます。



- **モード**：フル切替または切替を選択することができます。
- **カメラ切替時間**：3秒～2分まで設定できます。自動切替については[フル切替 ページ 18](#)を参照ください。
- **イベントモニタリング**：イベントモニタリングが設定されると、イベント発生時にイベント連動録画がされるカメラ画面を表示します。5秒～15分まで設定できます。イベントモニタリングに関しては[イベントモニタリング機能 ページ 20](#)を参照ください。
- **手動構成**：モニターの解像度情報に関わらず、ユーザーが解像度を手動で設定することができます。
- **解像度**：3840 x 2160、2560 x 1440、1920 x 1200、1920 x 1080、1680 x 1050、1600 x 1200から設定することができます。
- **外部モニター**：外部モニターに出力されるアナログ映像のタイプを**NTSC**または**PAL**に選択することができます。



3840 x 2160の解像度はHDMI 2.0モニターにのみ対応しており、その場合、VGAは1920 x 1080の解像度が出力されます。



- 追加できるカメラは最大で16台です。

第4章－付録

システムログの種類

システム起動	ログイン
システム終了	ログアウト
システム再起動	設定開始
アップグレード成功	設定終了
アップグレード失敗	設定読込
電源エラー	設定読込失敗
時間変更	設定保存
標準時間常変更	設定保存失敗
タイムサーバー	設定保存キャンセル
時間同期化失敗	ファクトリーリセット

エラーコードの種類

アップグレードエラーコード			
番号	タイプ	番号	タイプ
4	カーネルバージョンが合致しない	400	USBメモリでマウントエラー
100	メモリマウントエラー	401	USBメモリでファイルロードエラー
101	ファイルが見つからない	402	USBメモリでファイルコピーエラー
102	圧縮ファイルの解凍エラー	403	USBメモリが接続されていない
103	リロ(LILO)実行失敗	404	USBメモリ使用中
104	再起動失敗	405	サポートされないファイルシステム
105	正しくないファイル		

ネットワークエラーコード			
番号	タイプ	番号	タイプ
0	エラーの原因が分からない	20	ユーザーによって接続がキャンセルされる
1	正常なログアウト	21	ネットワークデバイスホストの応答なし
2	全チャンネルで使用中のため接続が拒否される	22	ネットワーク上にノイズ信号が多い
3	間違った製品のバージョン情報	23	転送キューがいっぱい
4	間違ったユーザー名あるいはパスワード	24	間違ったOEM情報
5	管理者が接続を強制的に終了させる	25	検索権限なし
6	タイムアウト	26	ポートがすでに使用中
7	ネットワークデバイスが終了	27	SSL接続失敗
8	使用可能なポートがないため接続できない	28	ネットワークタイムアウト
9	サーバーが作動していないため接続できない	29	ネットワークデバイスホストタイムアウト
11	ネットワーク使用不可	30	ネットワークデバイスホストがTCPによるRTPに対応しない
12	ネットワークエリアが違うためアクセス不可	31	ソケットエラー発生
13	接続タイムアウト	100	不明なコーデック
14	ネットワークデバイスから強制的に接続が解除される	101	JPEGコーデック(対応しない)
15	ネットワークデバイスホストが終了	103	MPEG4コーデック(対応しない)
16	ネットワークデバイスホストでルーティングできない	400	サポートされない解像度
17	接続が中断される	-1	正常な接続

故障と思われる時の確認事項

不具合	確認事項
本体の電源が入りません。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードの接続を確認してください。 ● コンセントの電源を確認してください。
リアルタイム映像が映りません。	<ul style="list-style-type: none"> ● LANケーブルの接続を確認してください。 ● モニタービデオケーブルとの接続を確認してください。 ● カメラの電源を確認してください。 ● カメラレンズの取り付け状態を確認してください。
システムアップグレードの途中でビデオデコードが再起動を繰り返し作業を完了しません。	<p>アップデートしているファイルのバージョンを確認してください。現在装置にインストールされているバージョンより古いバージョンにアップアップグレードしている場合、本機のファクトリーリセットスイッチを押してファクトリーリセットを先に行わなければなりません。ファクトリーリセットを使用する場合、ユーザーが設定した、すべての設定値が失われます。ファクトリーリセットに関する内容はファクトリーリセット ページ 14を参照ください。</p>
システムがネットワークインターフェースを認識しません。	<ul style="list-style-type: none"> ● LANケーブルの接続状態を確認してください。 ● 各ポートのステータス情報を表示するLEDを確認してください。

製品の仕様

型番		DD-1216
ビデオ	出力	16-チャンネル
	圧縮	H.264、H.265
	解像度	3840x2160(HDMI)、2560x1440 、1920x1200、1920x1080、 1680x1050、1600x1200
	ビットレートコントロール	VBR
入力/出力	ビデオ出力	HDMI、VGA、※CVBS (※マウス操作はできません。)
	イーサネット	10M/100M/1Gbps
	DC12V入力	ターミナルブロック
	LED	電源(状態)、ネットワーク
	ボタン/スイッチ	ファクトリーリセット
環境条件	動作温度	0°C～40°C
	動作湿度	0%～90% ※結露なきこと。
規格	サイズ(W x H x D)	200mm x 44mm x 152.3mm ※突起物含まず。
	本体の重量(約)	780g
	電源	DC12VまたはPoE (IEEE802.3af class0)
	消費電力	12.7W
	認証	FCC、CE、KC



本製品の仕様は改良のために事前の予告なく変更される場合があります。

